

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	観光誘客宣伝事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	産業経済部	課等名	観光課		包含する細々目	1	7	1	4	10	2	5,548
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり											
施策	13 地域内産業の多様な連携											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	地域経済活性化プログラム						
		事業期間	16	年度～	年度	関連計画条例等						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	観光客	対象の大きさを表す対象指標名と単位	観光の対象となった観光客:数	対象指標の数値			
					現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
					現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	誘客により飯田に来てもらう	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	誘客により飯田市に来た観光客:数(万人)	成果指標の数値(実績・目標)			
					18目標	100	最終目標	
					18実績	100	19目標	105
					23目標		23実績	
					18目標		最終目標	
					18実績		19目標	
				23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	飯田の魅力の効果的に伝えるため、観光協会などと協力し誘客宣伝事業を直接実施する。 また、関係機関と協力の下効果的なパンフレットの企画作成を行い、飯田の魅力をもっとPRできるツールに育成する。ことに遠山郷についてはホームページの活用などで、新規顧客の獲得を目指す。	・観光宣伝と情報戦略推進のためのプロモーション活動 ・観光パンフレット類の企画、印刷 ・各種物産展への負担と所属団体との連携 ・友好都市観光物産展事業	対象となった施設箇所活動:回数	15
	18年度の実績			
	19年度計画	・観光宣伝と情報戦略推進のためのプロモーション活動(観光PR用DVDの活用) ・観光パンフレット類の企画、印刷 ・観光協会のホームページを活用した情報発信 ・遠山郷のホームページを効果的に活用し、直営施設などでは予約が入りやすい状況を整える。 ・観光関係団体や関連組織との連携を強めながら、活用できる事例や情報分析などを行う。 ・まちなかインフォメーションセンターで得た苦情や生の情報の蓄積及び分析を誘客企画に活用する。	対象となった施設箇所活動:回数	18

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	11,548	5,548
	事業費計(A)	11,548	5,548
人件費	正規職員所要時間	18年度 50	19年度 50
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	179	179
	トータルコストA+B	11,727	5,727

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり。	上位成果指標(施策又はムツ指標)と単位	観光消費額(億円)	上位成果指標の数値			
					現状値	145	19実績	150
					20実績		21実績	
					22実績		23目標	184
				経済自立度(%)	現状値		19実績	
					20実績		21実績	
				22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ 観光誘客宣伝については、従来の活動を継承する形で行われてきているが、エコツーリズム事業の進捗や広域観光の動きも見ながら、新たな誘客の仕組みをつくる必要性が生じている。	事業を取り巻く状況の変化 中京圏や首都圏など、対象を絞った戦略的宣伝のあり方が求められている。	事業に対する市民や議会の意見 誘客宣伝については、市民の見る目も非常に厳しくなっている。地域に密着しながら、少ない費用で質の高い管理などを求められている。
--	--	--

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 効率的な観光宣伝により、誘客や魅力度がアップする。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がある (その理由) 観光に関する地域内の組織や個人を育成することにより、効率的に事業を推進することができる。資源の有効活用につながる。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 観光地としての魅力度が下がる。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 飯田市が直接的に誘客宣伝活用を実施することは飯田市の業務である。		効果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 不可能 (その理由) 担当者1名であり不可能である。
		公平性 評価	受益者は誰ですか？ また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 観光客

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	実施年度 〃	具体化 〃	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 平成19年度を目標に、地域の魅力を丸ごとPRできる誘客宣伝として、ITと紙媒体等をミックスさせ、それぞれの特質を活用できる方式に組み立て直す。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	ITの活用。(HPの改善充実)		

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由	
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？			

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	